



演奏の田村博氏と朗読有志

8月30日(日)「夏のさかりの詩とジャズ」が、野毛・ドルフイにて午後2時から開催された。毎年催される朗読会で、今回もピアノ演奏は田村博氏。温和そうな人柄で、即興のジャズピアノを披露する。

司会の植木肖太郎さんが軽妙洒脱のトークで、出演者を紹介。また朗読の前夜でドルフイの朗読会のいままでの歴史的経緯について話をした。詩人会に影響の強い近藤東氏について触れる。開会のあいさつの中上会長はヒグラシの話をもじりをまじえて語った。

第1部はトップバッターの洲史さん、母親の介護や別れに影響を受けた広瀬弓さん、とほけたユーモアの川端進さん、きまぐれな猫を題材にした荒船健次さんが作品を朗読した。

第2部は爽やかな日野零さん、パフォーマンス性の下川敬明さん、淡々とした光富郁埜、誠実さの黒岩隆さん、温かいユーモアの中上哲夫さん、飛び入りで即興詩を披露した村山精二さん

たちが個性豊かに朗読をした。朗読終了後に、朗読者以外の参加者の自己紹介が行われた。4時に閉会、その後、懇親会を清香楼で行った。

(撮影・光富、小桜、文・光富)



参加者：油本達夫、新井知次、荒船健次、五十嵐魯敏、植木肖太郎、大鹿理恵、方喰あい子、川端進、北嶋節子、黒岩隆、小桜ゆみ、小林妙子、坂井信夫、洲史、下川敬明、下川真由美、進藤友佳、中上哲夫、西村富枝、日野零、広瀬弓、光富郁埜、村山精二(敬称略)